						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7374		7-7774		99	(※事業者が記載する欄)	1 see	2 ### (((3 STATEMENT	4 RORI-GRE	5 \$235-FFE	6 ままなおととイン	7 stof-sactor	8 Addit	9 ##25####0 ###57(55	10 APBOFFF	11 damesha	12 つくを発性 COO	13 RETRIC	14 #080°EE	15 #0### #455	16 FRESE	17 destroyati
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		・経営理念を社内に掲示し、経営者は、会社のあるべき姿を会議・朝礼等で従業員に説明し共有している。 ・能力を活かす人事により、従業員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じている。			·		•		715	8	9	Y	ness			~			17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕 組みを構築している。	•		・従業員就業規則があり、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・【予定】コンプライアンス研修をR6年度から実施予定である。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、会議や日常的な会 話の中でその重要性を発信している。										10						16 15444	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署な どの体制を整備している。	•		・担当者として、営業課主任をGAP・SDGs担当に任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																16	
組織	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・れんこんの品種改良を続けており、特許、商標などの侵害排除について、弁護士や専門のコンサルタントを入れている。								8. 2 8. 3	9							16	
公正な	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・個人情報は、パソコン上のものはパスワードで管理し、書類上のものは鍵のかかるキャピネットで保管し、事務所の外に出さない様徹底している。																16	
取引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステーク ホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。 (※利害関 係者:消費者、投資家等及び社会全体)	•		・定期的に取引先に訪問し、顧客の声(特に苦情)を大事にし、双方向 コミュニケーションに取り組んでいる。																16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 1	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•	・バイヤーとのコミュニケーションを定期的に行い、安全な作物を届 ける為の生産性の情報共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画 (BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•	・事業継続計画を策定している。 ・【予定】R6年度から避難訓練を実施予定である。									9		11		13. 1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•	・れんこんの栽培マニュアルや支出シュミレーション、実際に従業員と一緒に作業をする事により、後継者の指導・育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15		17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めており、 相談窓口を設置している。				4. 3 4. 4 4. 5	5. 1 5. 2 5. 5			8. 5 8. 7 8. 8		10. 2 10. 3						16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 1	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	•		・メンタルヘルス(心の健康)を確保するために、職場での心理的安全性(恐怖や不安を感じる事なく、安心して発言・行動できる職場環境)に向けた管理職教育や啓発活動を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応し ている。	•		・従業員(正社員・実習生・パートナー・アルバイト)の公正な待遇を行っている。					5. 5			8. 5		10. 2 10. 3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕 事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き 方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、 ボランティア活動への積極的参加などの環境を整えている。			3		5. 5			8. 5 8. 8		10. 3							
働	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。				4	5. 5			8	9								
人 権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	•		・朝礼時に機械による事故等への注意喚起や風邪予防等の健康増進への取組みの促進を行っており、健康診断の経費補助も行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活 躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待 遇はない。 ・専務取締役が農業法人協会の中の女性活躍委員会の副理事を務めて いる。				4. 4	5. 1 5. 5			8. 5		10. 2 10. 3						16. 7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	・時差出勤、在宅勤務(テレワーク等)、ウェブ会議を導入するなど、 新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。			3					8	9. 1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・スプレッドシートを活用した情報共有を行い、部署をまたいだ情報 共有をリアルタイムで行っている。								8	9. 1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•				3	4				8	9			12					

事業者名: 株式会社 カワカミ蓮根

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

												主なSDGs	(17のゴ-	-ルと169	のターケ	サト)						
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,) =) \ A		29	(※事業者が記載する欄)	1 see	2 *****	3 STEERE	4 Modivers	5 2225-798 \$81,23	6 新華電視之子中心	7 stor-batter	8 minut	9 8225550	10 APBOTES	11 GARDANS BOOKSE	12 30888 309388	13 RAPER:	14 monoce Page	15 Rozece6	16 PRINCE PATRICE	17 ####################################
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでい る。	•		・日本産業廃棄物処理振興センターによる産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会を受講済(R4.9月)である。 ・農業資材の廃棄物(主に廃プラ)は産業処理業者に依頼している。マニフェストを保管している。			3. 9			6. 3					11. 6	12. 4		14. 1	15. 1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	•		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、LEDの 使用を徹底している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	•		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出しており、温室効果ガスの削減に向けた取組みとして、節電・節水・廃棄物の抑制・再資源化、カーボンニュートラル実現に向けてJ-クレジット制度認定のバイオ炭の農業利用を行える様他社と提携し取り組んでいる。		2. 4					7. 2 7. 3 7. a					12. 4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさない ように配慮している。	•		・事業及び従業員の活動において、社内のルールとしてレジ袋の購入 は禁止し、廃プラも極力リサイクルに取り組んでいる。 ・極力有機質肥料を使用する事で土壌内の微生物の生息・生育地の創 出に取り組んでいる。						6. 6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制 (リ デュース)、再使用 (リユース)、再生利用 (リサイクル) に取り 組んでいる。	•		・再生用紙、裏紙の利用、圃場作りに必要な資材の再利用を促進して いる。									9. 4			12. 2 12. 4 12. 5		14. 1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・圃場の井戸水はかけ流しにせず、全てタイマーを設置し、節水している(15分/1反)。 ・収穫後の圃場は極力乾かしている。		2. 4				6. 1 6. 3 6. 4 6. 6 6. b					11.5			14. 1 14. 2 14. 3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる (グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・荷作りに使用している段ボールは再生用紙を利用をしている。									9. 4			12. 4 12. 5	13	14	15		
環境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•	・昼食は近隣の農業生産法人の経営する飲食店から購入し、お互いの 農産物のフードロス問題の解決のため協力している。	1	2				6. 4						12. 3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	・れんこんの生産により、耕作放棄里の荒れた田畑を改善・管理して いる。 ・技能実習生の寮には花壇を設置し、各々の植栽を可能にしている。											11. 6 11. 7		13. 1 13. 3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生 可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11. 5		13. 1 13. 3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取 組みを推進している。		•							6			9. 4		11.3 11.4 11.5	12. 2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6. 1 6. 3 6. 6					11.3 11.4 11.5	12. 2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海 洋汚染の防止削減に貢献している。		•													12. 2 12. 5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動 車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•										9. 4		11. 2		13. 1 13. 3				
	36	【2050年C02排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年C02排出実質ゼロを目指し、計画的にC02削減に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11.6 11.a	12. 8	13				17. 17

事業者名: 株式会社 カワカミ蓮根

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

							主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)															
				4 1 .	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 1	17
分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ンジ	(※事業者が記載する欄)	1 \$80 \$(45)	2 est	3 THIORE	4 HORINERE	5 SENST-TRE	6 SECREMIA	7 staf-eacor	8 MtSut mant	9 意思と近端年間の 新聞をつくろう	10 APBOTFS	11 gardens	12 つくる責任	13 REZDI:	14 ************************************	15 hozees 953		17 //->
						ĤŧŶŶŧŶ		- ₩ >	U i	₫"	Ÿ	P	M		€	AH	∞	•	100			₩
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築してい			・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3. 9						9			12. 4					
	07	る。			・予冷庫を設置し、0.5度の温度管理で商品の鮮度維持に努めている。			0. 0						J			12. 4					
製	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供 や環境整備を行っている。	•		・れんこんをパウダーに加工し、嚥下困難な方でもれんこんの栄養を 摂れる様商品提供している。									9. 1	10	11.7						17
品・サ	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•	・肥料として熊本県産の米ぬか・魚かす粉末・血紛を使用している。		2. 3 2. 4					7.3	8	9		11. a	12. 3	13	14	15		17
ッ ー ビ ス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用 し、木質化を推進している。		•								7					12. 2	13. 1		15		
^	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。		•	・れんこんは発砲スチロールで出荷するのが主流な事に対し、弊社は 段ボールでの出荷を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するな ど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•	・加工用れんこんの消費で、同業他社と下茹でれんこんの商品開発を 行い、食品ロスの解消を行っている。		2. 3 2. 4						8. 2	9. 2 9. 4		11. a	12. 2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・地域事業者として、地域の自治会活動に参加している。 ・ボランティア活動として地域のゴミ拾い運動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽 減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対 策を進めている。	•		・災害時マニュアルを作成しており、防災設備を常備し、ハザード マップを掲示して従業員に周知している。				4							11. 5		13. 1			16	
持続可	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助 救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に 参加している。		•	・生産保全課・センター管理部共に各1名ずつ、1年に1回応急処置web 講習を受講する事で、仮に災害が起きた時に社内のスタッフはもちろ ん、地域の方々の救助も出来る様にしている。			3	4						10. 2	11. 5		13. 1			16	17
能な社	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13. 1				
会 • 地	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
方 創 生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施な ど、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•	・インターンシップ制度の仕組みを作り、「農業を始める.JP」に掲載し、県外からでも職業訓練出来るように寮の使用が出来る様にしている。 ・近畿大学より受入れ実績あり。				4				8. 6		10. 2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•	・独立支援制度を導入し、若手新規農業者の教育の仕組みを作っている。				4. 4				8. 5 8. 6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水 産業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4. 3 4. 4 4. 5				8. 6		10. 2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。